

# 11月は「あいち多文化共生月間」です！

愛知県では、国籍などのちがいがかわらず、すべての県民がともに安心して暮らせ、活躍できる「多文化共生社会」づくりをめざし、毎年11月を「あいち多文化共生月間」と定め、多文化共生に関する理解の促進や、日本人県民と外国人県民との交流の推進に向けて、普及啓発活動を集中的に行っています。

「多文化共生フォーラムあいち2017」のほか、市町村・NPO団体等の県内各地で開催されるイベントに是非ともご参加いただき、一緒に「多文化共生」について考えてみませんか。

## ■あいち人権啓発プラザ企画展「外国人県民との共生を考える～多文化共生社会をめざして～」

期間：平成29年11月1日(水)から30日(木)まで

場所：あいち人権啓発プラザ(名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎3階)

## ■多文化共生フォーラムあいち2017

内容：愛知県多文化共生推進功労者表彰及びあいち多文化共生作文コンクール優秀作品表彰・朗読、基調講演、パネルディスカッション

日時：平成29年11月18日(土)午後1時から午後4時30分まで

会場：名古屋国際センター別棟ホール(名古屋市中村区那古野1丁目47番1号)

※各イベントについての情報は「あいち多文化共生ネット」からご確認ください。

<https://www.pref.aichi.jp/syakaikatsudo/tabunka.html>



愛知県多文化共生シンボルマーク

## ■問合せ先

県民生活部社会活動推進課多文化共生推進室

電話：052-954-6138

E-mail: [tabunka@pref.aichi.lg.jp](mailto:tabunka@pref.aichi.lg.jp)

## ～大切な人を自死で亡くされた方にわたしたちができること～

大切な人を自死で亡くされた方は、深い悲しみだけでなく、周りの方による配慮のない言動などによって深く傷ついてしまうことがあります。

自死の原因は一つだけではなく、様々な出来事が複雑に絡み合っているといわれています。様々な悩みを抱えた時に、心理的に追い詰められることは誰にでも起こりえます。周りの人が安易に自死の理由を決めつけることや、「どうしてこんなことに」「なぜ防げなかったの？」などの言葉かけによって、傷つくことがあります。そういった心情に配慮し、「苦しく大変な思いをされたんだ」という気持ちで寄り添うことが大切です。

一方的な考えや意見を  
押し付けない

孤立しないよう  
寄り添い見守る

安易な励ましや詮索は  
せず想いを受け止める

あなたの周りに、大切な人を自死で亡くされ、つらい思いや困りごとを抱えている方がいらっしゃいましたら、安心して胸の内を話せたり、困りごとを相談できたりする場所があることをお伝えください。

### 遺族同士で思いを語り合う集いを 開催しています

#### リメンバー名古屋自死遺族の会

《偶数月に開催》

FAX 020-4668-8925

E-mail [remember\\_nagoya@yahoo.co.jp](mailto:remember_nagoya@yahoo.co.jp)

ホームページ <http://will.obi.ne.jp/remember>

#### こころの居場所～AICHI自死遺族支援室～

《奇数月に開催(1月を除く)》

電話 090-4447-1840 (事務局問い合わせ先)

E-mail [cocoroibasyo@yahoo.co.jp](mailto:cocoroibasyo@yahoo.co.jp)

ホームページ <http://cocoroibasyo.org>

### 大切な人を自死で亡くされた方を 対象とした主な相談窓口

#### 自死遺族相談(面接相談・予約制)

##### ○愛知県精神保健福祉センター

(名古屋市を除く愛知県内にお住まいの方)

第3木曜 14:00～15:30

連絡先 052-962-5377

(予約は平日9:00～12:00、13:00～16:30)

##### ○名古屋市精神保健福祉センターこころば

(名古屋市内にお住まいの方)

第3火曜 10:00～12:00

連絡先 052-483-2095

(予約は平日8:45～17:15)



音声コード対応  
パンフレットです。

このコードを活字文書読み上げ装置に読みとらせることで、各紙面の主な内容について、音声を出力します。

